



上尾市議会議員 民主党

32歳

市議会レポート
2011-③

まちだ 皇介

発行:まちだ皇介後援会
所在地:〒362-0015 上尾市緑丘3-6-32
☎/FAX:048-793-4811
E-メール:k.machida@ba.wakwak.com

平成23年9月議会 まちだ皇介 14回目の一般質問 [抜粋] PART1

👁️ 上尾市を「全国に発信できる魅力あるまち」へ!!! 🌟

「上尾市=自転車のまち」の取り組みについて

質問(まちだ)

埼玉県では、「ぐるっと埼玉サイクルネットワーク構想」を策定し、事業については今年度から本格実施することになっています。この構想は、埼玉県の自転車保有率日本一、自転車出荷額全国2位、平地の割合全国1位などの特徴を活かし、自転車の交通安全、地域活性化、健康増進を目的として策定されたものです。

この構想の柱となる「自転車見どころスポットを巡るルート100」の中には、「No.29 都市と自然の回遊軸ルート」として、上尾市内では1ルートが選定されています。

このルートは、西の荒川沿いのサイクリングロードと東の見沼用水沿いの緑のヘルシーロードを上尾駅を中心として結ぶルートでありますので、県内外から訪れるサイクリング愛好者に上尾市の魅力を伝え、体感していただく意味でも、重要な道路となりますが、交通量が非常に多い道路でもありますので、安全面にも配慮した走行空間の確保、道路環境の改善を図っていかねばなりません。

★このルートについての現在の整備状況と今後の整備計画についてお伺いします。

答弁(担当部長)

「No.29 都市と自然の回遊軸ルート」については、全長12kmで、平成23年9月までに県土整備部が主体となり、北本県土整備事務所、埼玉県警、市担当者による現地確認を実施し、平成23年度末までに、「1. ルートの拠点に全体図や周辺スポット情報を示す案内表示板を設置する。」「2. 交差点やY字路など、ルートの曲がり角に方向誘導標識を設置する。」「3. 国道や県道の交差点歩道内に、注意喚起を促す路面表示を設置する。」などの予定となっていますが、整備の詳細や時期については、現段階では未定とのこと。

上尾市独自の取り組みでは、平成22年度より都市計画道路・上尾平方線の上尾駅西口交差点から上尾道路までの約2.4km区間において、自転車専用通行レーンを設置し、歩行者や自転車の安全かつ快適な走行空間を確保することを目的に整備を行っています。

その中で、上尾駅西口交差点から春日神社までの区間は、歩行者帯2.5m、施設帯を含む自転車帯2.5mの自転車歩行者通行帯を整備しており、平成23年度完成予定です。春日神社から上尾道路までの区間は、車道側に路肩部を含む2mの自転車専用通行レーンを整備する予定ですが、整備の詳細や時期については、現段階では未定です。

今後は、平成23年度に発足した「自転車のまちづくりプロジェクトチーム」で具体的な整備方法や安全対策の検討を加え、更なる整備を行っていきたいと考えています。

質問(まちだ)

★庁内に自転車のまちづくりを進めるプロジェクトチームを発足させたということをお伺いしたので、プロジェクトチームの現状と今後の方向性についてお伺いします。

答弁(担当部長)

今年度、「自転車のまちづくり実行プロジェクトチーム」を環境、健康、道路整備等の関係各課職員12名により発足させたところです。

現在、プロジェクトチームでは、過去に上尾市で行ってきた自転車に関する施策を見直しながら、自転車利用における現状把握と課題の整理を行っています。

今後は、自転車利用が環境面や健康増進面の観点から、スポーツ宣言都市としての一翼を担う方策としてその効果が期待されているとともに、先進都市における自転車の施策や動向等を研究し、市民、企業、行政

が一体となって、本市の特色を活かした独自の自転車のまちづくりを研究していきたいと考えています。

質問(まちだ)

10月16日(日)に埼玉サイクルフェスティバルが上尾運動公園を主会場として開催されます。参加定員だけで1,000人来場し、当日は同時開催イベントとして、近隣自治体のB級グルメの出店、地産地消費フェアなどもありますので、当日は、県内外からの大変多くの方が上尾市に訪れることとなります。

★今回のイベントは、自転車のまちづくりを進める上尾市にとっても、様々な面で市をアピールする絶好の機会となりますが、開催自治体としての上尾市の関わり方についてお伺いします。

答弁(担当部長)

埼玉サイクリングフェスティバルは、昨年度の熊谷開催に引き続き、今年度は第2回として上尾運動公園を主会場として開催されるものです。

荒川自転車道及び一般道を走行するコースで、競技としてではなく、荒川や周辺の田園など、豊かな景観を一望しながら楽しんで走ることを目的としており、距離別に50kmと30kmの2コースが設定されています。

フェスティバルは、埼玉県をはじめ、コースの沿線にある上尾市、桶川市、北本市、鴻巣市、吉見町、川島町のほか、埼玉県サイクリング協会などによる実行委員会形式で行われることになっています。

スタート地点となる上尾運動公園では、上尾市も市内業者等による観光協会推奨土産品の和菓子、授産製品、農産物等の販売を行います。また、コース内に6カ所のエイドステーション(休憩場所)が設けられ、市内では上尾橘高校の1カ所になりますが、そこでも観光協会推奨土産品の和菓子の販売のほか、地元・平方地区によるお囃子^{はやし}の披露を行う予定です。

昨年の熊谷会場では、1万人を超える来場者があったことから、今回も同様の来場者数を見込んでおり、市としても物品の販売など様々な方法で、上尾市の魅力を積極的にPRしていきたいと考えています。

B級グルメ・ご当地グルメについて

質問(まちだ)

全国的な大会では、平成18年から開催が始まった「B-1グランプリ」が有名ですが、そこでグランプリを取った富士

宮焼きそばや横手焼きそば、最近では甲府鳥もつ煮は、既に全国的な商品となり、まちのPRや観光振興に多大な貢献をしています。

埼玉県でも平成19年から「埼玉B級ご当地グルメ王決定戦」を開催していますが、県内の各自治体もまち特有の農産物や様々なアイデアを取り入れた商品を引っ提げ、大会に訪れる数万人といった多くの方々へのまちのPRに努めています。

私も含め、他の議員さんもこれまでに意見してきましたが、残念ながら上尾市ではこれまでその舞台に立つことすらかなわなかったわけであります

しかしながら、他の自治体と比べると大変遅くはなりましたが、今年11月12日(土)のあげお産業祭にて、ご当地グルメのイベントが初めて開催されることになりました。

★今回のイベントで決定した商品のその後の展開を含めた上尾市ご当地グルメを定着、浸透させるための中・長期的な展望はどのように考えているのか、お伺いします。

答弁(担当部長)

今回、本市で取り組む「ご当地グルメ祭り」は、地産地消を目的とした「食」をテーマに、市内の農工商産業を有効に活用しながら、産学官の連携の下、協働で事業を計画、実施し、地域の振興に結び付けたいと考えています。

市内で営業しているお店、または市内に在住・在勤・在学の人で構成している団体で、最大10店舗にご参加いただき、一般入場者による投票形式で上位の順位を決定します。

上位に選出されたグルメ店舗には、次のステップとして「埼玉県B級グルメ王決定戦」に出店していただくよう依頼します。この大会の参加を通じて市内外に方々に、本市のご当地グルメを広くアピールしていければと考えています。

「ご当地グルメ」を定着、浸透されるためには、市・商工会議所・事業者団体・商店街などが各々連携、協力し、地域主体で牽引していくことが重要であり、市としましても、「ご当地グルメ」を地域の名物として、地元に着定していくよう広報等、外部に発信し、支援していきたいと考えています。



その他の質問については、次号レポートの中で報告させていただきます。